

入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略 新規事業企画書

～ 今まで取り組んだことのない事業を展開し、市の魅力発信に繋げる ～

No.1

事業名	保育所出張ふれあい市
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の充実を図ることで子育て世代の転出を抑制する。 ・今まで取り組まれてこなかった保育所へのオプションを充実させる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内生産者に保育所へ出向いてもらい、地域で生産された農産物等を子どもの迎えに来た保護者に販売してもらうことで、保護者が買物に行く手間を軽減することを狙う。 ・子どもと生産者のふれあいも狙いとする。 ・開催は月2～4回を想定しているが、開催数は生産者と調整を図る。 ・開催場所は1開催につき1保育所を想定。最初から全ての保育所で開催するのではなく、1か所から始める。場所の決定に当たっては、販売等の様々な問題の検証を行った上で、保育や送迎への影響及び安全対策を十分検討することとする。 ・スタート時は農産物の販売を中心に想定しているが、保護者の負担軽減に繋がるような商品展開も視野に入れる。また、市場には出せないが味や鮮度に問題のない安価な野菜等の販売を生産者と調整を図る。 ・実施時間は実施する保育所と生産者の意見を踏まえ検討する。 ・事業に伴って生じうる事故に備え、損害保険について検討していく。

No.2

事業名	移住体験事業～ベットタウンを味わう～
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市の良さを知ってもらうための事業を展開する。 ・入間市での生活を体験してもらい、入間市の良さを分かってもらう。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に近いエリアに位置する公営住宅やURの賃貸住宅を交渉のうえ市が借り上げ、20代～40代の夫婦に対して移住体験を提供する。自然が豊かで、かつ、都内への通勤も支障がない当市のベッドタウンとしての利便性を実際に味わってもらい、定住につなげることを狙う。 また、市内の店舗やイベント情報をチラシ、SNSで提供し、当市の魅力を積極的にアピールする。 ・体験期間は1～2箇月単位と考えているが、実際に何箇月が適切かについては今後検討する。また、その期間の中で移住を決めた方への支援（特典等）により、定住効果が生まれるような工夫をしていく。 ・事業スタート時は都内在住者をターゲットにPRする。

No.3

事業名	高校先取り学習支援
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・特色のある教育を推進する。 ・困難を抱える子どもへの支援の継続と併せて、やる気のある子どもたちに向けてさらに学力を向上させ、刺激しあう場を提供する。
事業内容	<p>・意欲のある中学生向けに高校の内容を先取りして学習する場を提供する。指導者は高校を退職した元教師や近隣の大学生の協力を得る。市内各中学校から生徒を募集して、公民館などを会場に実施する。今まであまり光を当ててこられなかった先取りの学習の場を用意して、市の教育のアピール材料とすることを狙う。</p> <p>また、事業の実施にあたっては教育委員会が進める方針に影響を及ぼさないよう十分な調整を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者は中学2年生とする。参加者の募集に当たっては、市内全校統一の募集案内で周知し、機会の平等が保たれるよう十分に配慮する。 ・スタートは中学3年生からの学習とし、段階的に高校先取り学習へ繋げていく。実施教科については、講師と相談して設定する。 ・講座開催数は月4回程度を想定しているが講師と調整を図る。

No.4

事業名	犬にやさしいまち
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・当市での畜犬登録数は8,000頭前後で推移している。 ・犬に関しては、鳴き声による騒音、糞尿の処理、散歩のマナーなどでの苦情が考えられる。 ・本事業を実施することで、地域住民と犬・飼い主がなかよく暮らせ、快適な住環境を形成することを目的とする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドックランの整備：加治丘陵地内、中央公園内などに犬の遊び場を作る。整備状況によっては、利用料を徴することも想定できる。 ・フンステーションの設置：フンの処理をしてもらえるところとして、ペットショップ、動物病院などを認定する。店、病院の駐車場内に専用ごみ箱を設置する。

No.5

事業名	毎週イベントがあるまち
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民及び周辺住民にイベントの案内をすることで、転入者、交流人口の増加を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報課において、イベント情報を毎月記者クラブに送付している。 ・このイベント情報に手を加え、一般向けにHP等で提供する。 ・月ごとのイベント情報を転入者に配布する。

No.6

事業名	転入世帯への特急料金の補助
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・定住人口の増加を図る ・選ばれる入間市の要因を創出し移住人口の促進する ・都心（池袋）から特急を利用して約32分で到着する立地を生かし、楽に通勤できる街を知ってもらう。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験として3ヶ月の通勤補助事業を実施。 ・20才～40才代の鉄道利用の都内23区通勤転入者に西武池袋線入間市～池袋の特急料金（相当額）の半額をする。 ・入間市駅以外の鉄道利用者でも都内23区通勤転入者が対象。

事業名	保育所（園）、学童保育室待機児童ゼロ実現
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産、育児、仕事復職へと移行しやすい環境整備を行う。仕事復帰にあたって子どもを安心して預けて就労出来る環境を整備し、当該世代の定住を図る。 ・ 待機児童を無くすためには、地域的なニーズに応じた柔軟で戦略的な施設整備及び専門職員の確保充実が不可欠である。他自治体と差別化を図る大胆な専門職員の処遇改善を実施し、専門職員の確保を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員を確保するのが困難な状況であることは認識している。その解消のため、大胆な処遇改善を実施するとともに経験者や有資格者をリスト化、ネットワーク化を図り活用する。 ・ 個々の事情に応じてきめ細やかな就労形態を支援する。働き易い環境を整備する。 ・ 真に必要な施設を市の整備計画にそって計画的に整備する。